

# まちづくりミーティング開催結果概要



## 開催テーマ 自治会活動の維持・存続に向けて

### 参加者

桐生市区長連絡協議会（11～22区の区長）12名

桐生市長

傍聴者 2名

報道機関 2名

日時：令和5年8月17日（木）午後3時55分～午後5時00分

場所：桐生市立中央公民館4階 403研修室

### 1 開会

### 2 あいさつ

### 3 自己紹介

### 4 議題

## 自治会活動の維持・存続に向けて

#### 意見交換のポイント

- 自治組織役員の担い手の確保について
- 地域担当職員制度の創設について 等

### 5 閉会

# 自治組織の現状、役割・取組、課題について

## 1. 現状

桐生市の自治会組織



## 2. 役割・取組

### ●地域での人と人との支え合い

ご近所とのお付き合いを通じ、いざというとき支え合えるよう交流を深めています。



### ●行事などのイベント開催

夏祭りや運動会などを通じて、住民同士の交流を深めています。



### ●安全・安心な地域づくり

防犯パトロール、防災訓練などを行い、安心して暮らせる地域づくりをしています。



### ●地域の環境美化

ごみステーションの維持管理、地域清掃などを行い、地域の環境美化に努めています。



### ●子どもや高齢者の見守り

子どもや高齢者の見守り声かけなどを通じて、安心して子育てや生活ができる環境づくりをしています。



### ●地域資源の保護・伝承

地域固有の伝統や習慣などを守り伝承し、魅力ある地域づくりをしています。



### ●住民主体の地域づくり

現在の課題や地域のこれからについて、住民が自分たちで考え、さまざまな活動に取り組んでいます。



### ●行政とのパイプ役

暮らしに役立つ情報提供や、地域の課題に対する行政の相談窓口の役割を担っています。



## ■自治組織への事務委託

### 事務委託の内容

- 広報紙及びその他周知文書の配付（毎戸配付や回覧）
- 桐生市と地域住民との連絡に関すること
- 公民連携により推進すべき施策や地域課題の解決に向けた活動への協力



## 3. 課題

- 自治会・町会の未加入者・退会者の増加を防ぐ
- 自治組織役員の担い手不足（負担軽減）
- 自治会活動の活性化



**(市長)**  
 本日は開催テーマを「自治会活動の維持・存続に向けて」とし、皆さんのご意見を伺い、共に考え、新たな取組を創造してまいります。  
**意見交換のポイント**  
 ●自治組織役員の担い手の確保について  
 ●地域担当職員制度の創設について等  
 にさせていだいた。  
 まずは「自治組織の現状、役割・取組、課題」について、説明願いたい。



**(区長会より)**  
 「自治組織の現状、役割・取組、課題」について説明





**(市長)**  
 課題について大変  
 貴重なご意見を  
 いただいた。まず  
 はそれ抱えてい  
 る現状・課題・  
 取組について伺  
 い。

**(意見)**  
 世帯数が3700世帯の中で運営し、事業活動が非常に盛んな地域でマラソン・境野養老会・区民運動会などの恒例行事や安全・安心をテーマにした防災活動、子どもや高齢者の見守りも周知徹底され実施されている。また、隣組長、町会委員、正副町会長、区長・区長代理という段階で地域行政を実施しているが、少子高齢化や核家族化が進んでおり、担い手不足が生じている。特に組長については、概ね輪番制で2年に1度交代しており、町会委員についても同じような状況であるが、いくつかの町会では輪番ではなく、昔からの流れで同じ方が継続して長や役員を担っている。正副町会長の判断により、事業活動が左右されているのが実情であり、大変重責である。役員の皆さんからは、役員報酬が近隣市である太田市・みどり市と比較すると著しく異なり、桐生市は、太田市と比較すると約3分の1、みどり市と比較すると約2分の1となっており、他の自治体と同水準にしていたらという意見がよく聞かれる。また、担い手不足の原因の一つが事業活動を行う中で、必然的に役員への協力が必要となる回数が多く、負担に感じる人もいないかという話も出ており、現在の状況を考え、市などの要請に対しては、今後検討していきたい。



**自治会組織運営の課題について**

**(意見)**  
 21区は市内でも大きな自治会組織で運営し、総戸数は約3500戸となっており、ポイントがあり、スケールメリットを感じることもあるが、人口が昔からすると急増したことから、色々な考えを持つ方もいるため、運営面では課題を抱えている。そのようなか、区の方で検討委員会を立ち上げ、色々な角度から検討しているが、コロナ禍で中々進んでいないから対応したい。



**役員報酬の見直しについて**

**(市長)**  
 様々な取組をしていただいている中で、役員担い手不足に対しては、あり方検討委員会を作られたり、報酬に対する見直し提案など、大変貴重なご意見をいただいた。しっかりと対応していきたい。



## 役員報酬増額や定年延長 による担い手不足について



**(意見)**  
まず一番は担い手不足であり、その原因は一般社会の定年制が延びているということである。定年を迎えると役員をお願いするといふ流れで、以前は60歳で定年だったのが今はもう70歳となっており、それが今度は75歳になろうとしているため、担い手が完全に不足している。また、若い人に役員になってもらいたいと思っても仕事を抱っていないため頼めず、で夜会議をすればよいと考えるが、例えば市職員が会議に出席となると残業になつてしまうなどの問題がある。一つの例をとってみると防犯パトロールで青パトを運転しているが、その運転手は皆70歳以上で警察の講習を受けて行つてはいるものの高齢化しているため、安全面等が課題となつており、どのように対応したらよいか結論は出ていない状況である。

**(市長)**

やはり担い手不足の問題というところで若い人の参入が課題となつていることが分かった。皆さんで意識を共有させていただき、各区の取組でアドバイスがあれば話していただければと思う。

**(意見)**

現在3000名程度の規模だが、毎年1000人弱減少しており、小中学校の適正配置についても相当な波が押し寄せているような気がする。役員の担い手不足については、今回のような日中の会議が連日のように開催されているため、現役世代では出席は困難な状況である。本質の部分では、先に行われた区長に対するアンケートでも意見が届いていると思われるが、手当の増額が求められると思う。他の市町村との比較はどの様な状況となっているのか。また、定年制の延長という点では、大体区長になる流れとしては、副町会長、町会長、区長代理、そして区長となり、それぞれ2年ずつ務めるため、定年70歳で始めると後任が中々確保できないこととなる。区長や町会長の日々の仕事は会議が多い以外は負担と感じていないが、最大の仕事としては、自分の後任を探すということが大変である。



## 定年延長による担い手不足について



## 役員候補の選出について

**(意見)**  
町会により町会費や行事内容が異なるが、特に13区では防災や体育協会に力を入れて交流を図りながら取り組んでいる。担い手不足という点での提案では、定年が近い学校の先生、市職員、銀行員の方々などに退職後は地域の担い手となつていただくよう定年前から伝えておくのが一番良いと思う。ある程度行政の流れが分かった方が早く馴染むことができ、初めて町会長をやっていたらとすると中々困難であると思うため、候補者を事前に絞るとうまくいくと考えている。13区では、役員任期が満期になつてから誰かを探すのではなく、早めに次期役員の候補者を探すようにしている。

**(市長)**

新たに役員候補として学校の先生や市職員などを選出することについて提案をいただいた。他の地区でも参考にしていただければと思う。

**(市長)**

様々な指摘をいただき感謝申し上げます。報酬手当については検討しているが、中々それ以上は踏み切れない状況であり、本日同様の話をいただいており、そのため、しっかりと検討してまいります。





## 防災・災害対策について



## 他地域からの移住者との関わりや 町会費の納入について

**(意見)**  
 区長としては、充て職や地元の色々な会議が多くあり、現役の時よりも忙しい状況である。課題としては、川内には様々な観光資源があるが、そこには辿り着くまでの道路の草木がひどく、熊本市で倒木による車の破損・死亡事故で5000万円の賠償を命じた判決が出た例があるが、万が一、こちらでも倒木があった際に大変なことになるため、行政には、そのようなところをしっかりと対策していただきたい。  
 防災関係では、山田川は危険な河川であることは承知しているため、避難所運営など色々と検討しているが、一番の課題は福祉避難所についてであり指定避難所に行ってから移動することになってきているが、指定避難所から福祉避難所へ連れていくことは困難であるため、直接行ける仕組みを作っていたきたい。  
 また、スポーツ大会などを通じた地域交流により、担い手不足の解消のきっかけづくりも可能であると思う。

**(意見)**  
 15区の人口は約17000人であり、これは大間々町の人口と同規模で大間々町では17人の区長で対応している中、15区では1人で対応している状況である。地域性としては事業所が大変多いため、通勤族も多いということや、鉄道が充実しているため電車通勤の方が多いという特徴がある。また、市営・県営住宅が多い地域であり新たに住民となる方も多く、中々隣組などの関わりを理解してもらえずトラブルも発生している。市営・県営住宅では団地毎の会費と地域の会費とで町会費が二重ではないかという問題もよく提起される。その他高齢者の方が一人暮らしになると町会費を払っていただけないといった問題も出ている。  
 区役員の選出では、手当てが少ないのか、地域性もあり日中仕事をしている方が多いということもあるのか、やはり相当苦慮するという話もよく聞く。  
 自治会の行事で他区と異なることとしては、スポーツ月間を設けスポーツ大会を実施している。



**(市長)**  
 本場に地域によって全く状況が異なるため、実情に合った対応をしていただいていることに感謝申し上げます。



## 役員の女性登用について



### (意見)

非常に長細い地域で人口は担い手不足は同じくあり、自分自身が町会長と区長を兼任していることや、今まさに自治会長も探しているところだが、もう少し女性も自治会長などの役員に選出されるようになれば、対象範囲も広がり、担い手不足も緩和されるのではないかと。22人の区長の中に一人も女性がないというところで、時代的にもそろそろ女性の登用も必要ではないかと考える。

### (市長)

前回のまちづくりミーティングでも女性の役員登用について意見が出された。その点についても検討しなければならぬと考えている。

## 民生委員・児童委員の増員について



### (意見)

非常に長細い地域で人口は約7000人、世帯数は約3400世帯であるが、面積が広く、子どもたちのスクールゾーンも県道を通ったりと大変厳しい状況でスクールゾーン対策会議において協議するが中々対策が進んでいない。また、民生委員・児童委員についても18人おり、決められた人数で動いていることは承知しているが、手が回らないため、可能であればもう一人増員していただきたい。また、色々な団体が活動しているが、団体の会長が高齢となり、後継者がいないため、少しずつ団体数も減っているという状況が生じている。

### (市長)

後継者不足については色々なところまで波及しており、深刻な問題であると考えている。

## 地域課題に対する行政の対応について



### (意見)

20区での役員については、班長は輪番制で町会委員は選挙で決めている。区長については、町会長5人の中から選出している。新里中央小学校放課後児童クラブの擁壁の修繕について市に相談し、一度修繕してもらったが、十分ではなかったため再調査を依頼し、最終的には100万円程度かかった。また、学校評議員会議も欠席が多い中で会議が進行されたため疑問を感じた。

### (市長)

地域の課題に行政としてしっかりと対応していきたい。学校からも進めていきたい。学校評議員会議についても重要な会議であるため、しっかりと対応するよう担当へ伝えたい。

## 各種委員等の選出について



### (意見)

担い手不足に関しては、町会長への依頼を最小限にしていることが要因かもしないが、結構引き受けていただける方が多いため、それほど他の区のように役員の選出には困ってはいない。それ以外の民生委員や婦人消防隊などの地区ごとに選出しなければならぬ各種委員等の選出については、大変苦労している。





## 伝統行事の継承について



(意見)

22区は黒保根地区で4町会19地区会あり、各地区の役員は選挙での選出や決まった方が継続して担うなどしているが、最近では選挙での選出が多い。事務もパソコンを使用しなければならぬため中々担い手がおらず、自分が代理で行っていることも多い。少子高齢化で学校も市内初の小中一貫校となってしまった状況である。また、コロナ禍で伝統行事も中々開催できなかったが、昔からの各地区の祭りなどを小規模でもいいので繋いでいきたいと考えている。

道路愛護についてもコロナの影響で中止したことあったが、地区で除草をしないと通れなくなってしまうほど荒れてしまうので、何とか我慢してみんなでやってきたが、今は出る人がいなくなり、参加者全員が草刈り機で行っている状況である。

民生委員・児童委員や婦人消防隊などの人選についても、以前はある程度役所が見計らってからであったが、事務から何から町会の方に預けられているため大変である。

(市長)

新里や黒保根でも素晴らしい伝統芸能や行事がたくさんある中で、中々継承が困難であるということは地域の方々から色々話をいただいているところであるため、何とか継承できるように知恵を絞って行っていきたいと考えている。

## 「地域担当職員制度」について



(意見)

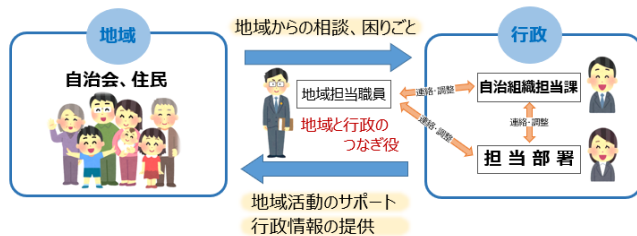
皆さんからいただいた課題を解決する一つの手段として、もう一つの意見交換のポイントである「地域担当職員制度」を掲げさせていただいたが、今後どのように進めていくことが理想であるかという点についてご意見をいただきたい。「地域担当職員制度」については、それぞれの区に職員が赴き、地域の課題についてご意見を伺い、行政のそれぞれの部署に繋ぐような役割を考えているが、初めてのケースであるため、これから制度構築をするにあたり、皆さんのご意見を参考に伺いながら進めていきたいと考えているので、ご意見をいただきたい。

## 「地域担当職員制度」について

### 「地域担当職員制度」とは...

経済・社会構造の変化の中で多様化・深刻化していく地域課題の解決に向け、職員が地域におもむき、住民との対話・交流を通じ、地域の現状を把握し、それぞれの状況にあった支援を行う現場主義の根拠を担う制度

### 「地域担当職員」の配置イメージ







**(意見)**  
この制度については良いことであると思う。その理由としては、災害時の避難所対応職員が殆ど地元の職員であり、非常に相談しやすい、自らの地区であるため危険度を把握することにより自分が地域のために何とかしないとならないという意識も出ると思われ、防災に限らず職員が地域に関わることで色々な対応ができると考えている。

**(市長)**  
避難所対応職員については、あらかじめ職員を配置しており、なるべくすぐ行けるように地元の職員を選んで対応しているが、地域担当職員制度についても同様の対応としたらよいか検討させていただきます。

**(意見)**  
是非この制度を導入していただきたい。可能であれば地元の方や何年かいた方がよく、困っているときにここに来てほしいとかあの現場をみてほしいなど、他の地区の出身者であると場所を伝えても分からないことがあるため、その点をお願いしたい。

**(市長)**  
貴重なご意見をいただきありがとうございます。



**(意見)**  
この制度はあった方がよいが、職員は大変苦勞してしまうと考える。中には町会費を払わずに言いたいことをいう方もおり、そのような方の対応は誰がしても大変であり、役割を線引きすることは難しいのではないかと。

**(市長)**  
この地域担当職員制度については、その職員が全てを賄うということではなく、いたご意見を役所の担当職員へ繋げるということであり、中にはできないことはできないものと思われるが、まずは地域の課題をしっかりと伺い、市として対応できることはどのようなことがあるのかを考えるため職員を派遣したい。

**(意見)**  
基本的には賛成であるが、様々な相談があり、小さいものであればよいが、大きい案件になると権限がないと動いていただけないと思われるため、どの程度までその職員に権限を預けていたただけるのか懸念がある。

**(市長)**  
この地域担当職員制度の提案も職員から出されたものであるが、色々皆さんのご意見を伺い大きい相談をいただく場面については、それそれぞれの所属の部長にしっかりと話を通すということや地域担当職員については重たい案件もあるということ、市役所内で共通認識を徹底して進めてまいりたい。







**(意見)**  
 非常に良い制度である  
 と考える。現在、公  
 民館を中心とした職員  
 が地域に色々と力を貸  
 してもらっており、そ  
 ちらとうまく連携を取  
 ることにより今まで以  
 上に効率が良いとなると  
 考えられるが、同じこ  
 とを行っても意味がな  
 いため、スタートの際  
 はそのすみ分けをしつ  
 かりとした方が良い。

**(市長)**  
 大変貴重なご意見を  
 いただきありがたい。  
 正におっしゃるとおり  
 であると思われるので  
 しっかりと対応してま  
 いりたい。



**(意見)**  
 この制度については、  
 是非導入していただき  
 たい。地区の課題とし  
 ては、学童のスクール  
 ゾーンにおいて、カー  
 ブミラーが立ち木で見  
 えない箇所が多くあり  
 町会長を通じて立ち木  
 を伐採していただくよ  
 う要請してもその相手  
 方が中々了解せず切っ  
 ていただけません。以前  
 は市に依頼して対応し  
 ていただいたこともあ  
 るが、現在は町会長が  
 回り対応している。中  
 には立ち木が道路を  
 覆っているところもあ  
 るため、市や警察など  
 行政の方から伝えてい  
 ただいた方が対応して  
 いただけるかもしれない。  
 また、この制度に  
 ついては、公民館と十  
 分連携をとって行って  
 いただきたい。

**(市長)**  
 大変貴重なご意見を  
 いただきありがたい。

**(意見)**  
 素晴らしい取組であるため是非行っていただきたい  
 い。何点か気になるところがあり、この制度につい  
 ては、地域と行政とのつなぎ役であり、地域の個人  
 とのつなぎ役ではないため、その辺を履き違える  
 と大変なことになるため注意が必要である。また、高  
 齢化が進んでいる中で、制度としてあったわけでは  
 ないが、新里村の時に地域の職員がお年寄りから依  
 頼を受け、代わりに申請などを行い、翌日には書類  
 を届けてくれるなど、便利さがない時代に、動けな  
 いような方からすれば素晴らしいことであつたと思  
 うので、地元とつなぎをするという中でそのような  
 ことも併せて研究していただけると素晴らしいもの  
 になると考える。

**(市長)**  
 今いただいたご意見のように、それぞれ個人の要  
 望・陳情だけに応えるということではなく、トータ  
 ル的な部分の中で地域として抱えている問題へ対応  
 するといふ大きな役割があるということとスタート  
 していきたい。もちろん個々の問題につきましても、  
 区長さん経由で担当職員に話していただいてもよい  
 と考えるので、これからも制度設計については、  
 しっかりと取り組んでまいります。





**(市長)**  
 本日は、貴重なご意見をいただき、心から感謝申し上げます。いただいたご意見については、市政に反映すべく取り組んでまいります。



**(意見)**  
 自分のイメージでは、例えば道路の問題であれば、今まで町会長・区長が市役所や土木事務所へ陳情に行っていたが、地域担当職員はそのような仲介もしていただけというものでよいか。また、個人的な困りごとについては、個人と直接対応するのではなく、町会長あるいは区長を通じた繋がりを持つ必要があるとともに、地域担当職員は、市役所だけではなく、土木事務所や森林事務所、警察などの機関とも繋がっていただきたい。

**(市長)**  
 個人に対しての対応ということではなくあくまでも町会長・区長通じての取組にしたいと考えている。先ほどスクールゾーンのカブミラーで立ち木を切る話が出たが、行政はやはり縦割りがあり、窓口としては、教育委員会、道路沿いの樹木の伐採であれば土木課、カブミラーは警察など、色々と複雑に絡み合う中を地域担当職員が入って調整できれば良いと考えているので、またご意見をいただければと思います。